

**豊島が展開する、オーガニックコットンの普及活動を通して  
社会貢献を目指すプロジェクト  
「ORGABITS」 国内外のNPO・慈善団体へ寄付金を贈呈  
～ 8月27日(金)に、約600万円を10団体へ寄付～**

豊島株式会社（代表取締役社長：豊島半七、名古屋市中区）が展開する、オーガニックコットンの普及活動を通して社会貢献を目指すプロジェクト「ORGABITS（オーガビッツ）」は、2021年8月27日（金）に、本プロジェクトに参画したアパレルブランドとコラボレーションした商品・60万点以上の売上金の一部を、寄付金としてNPO法人や慈善団体など合計10団体へ寄付します。



**■16年続くオーガニックコットンの普及プロジェクト「ORGABITS」**

「ORGABITS」は、みんなで“ちょっと（bits）”ずつ地球環境や生産者に貢献しようという想いで、2005年に開始したオーガニックコットン普及プロジェクトです。

一着に使用するオーガニックコットンの割合を、100%にこだわらず10%以上を広く普及させることで、世界中でわずか1%にも満たないオーガニックコットン農地の割合を10%以上に広げるというサステイナブルな考え方を提案します。

ファッションを通して、世の中を良くする“ちょっといいこと”の輪を広げていく様々な活動を行っています。

（オーガビッツ公式サイト：<http://orgabits.com/>）

**・寄付金に関する取り組み**

オーガビッツを使用した商品1点につき1円を、インドのコットン農家を支援する「一般財団法人PEACE BY PEACE COTTON」に寄付しています。また、プロジェクトに参画いただいたブランドとのコラボレーション商品は、1点につき10円を国内外の環境・福祉・途上国支援・復興など、各分野で活躍するNPO法人や慈善団体に寄付する取り組みを行っています。

今回は、2020年7月から2021年6月までに販売したプロジェクト商品・約60万点の売上の一部である約600万円を、合計10団体へ寄付金として贈呈します。

2012年からスタートした寄付金贈呈は、10年目の今年で総額55,702,932円となりました。

**・オーガニックコットンとは**

オーガニックコットンとは、各国の有機農法の基準により、環境や生物に影響をおよぼす農薬や化学物質をおおよそ3年以上使用しない農地で有機栽培されたコットンのことです。オーガニックコットンを使用することで、生産に携わる人びとの暮らしや、綿花を育てる大地などの環境を守ることに繋がります。オーガニックコットンを選択することが持続可能な社会への第1歩だと考え、豊島はオーガニックコットンの普及を目指しています。



## 〈寄付金の内訳〉

プロジェクト名(団体名)	金額	贈呈日
ピース・バイ・ピースコットンプロジェクト(一般財団法人 PEACE BY PEACE COTTON)	1,918,184 円	2021年8月27日
クリニクラウンプロジェクト(認定 NPO 法人 クリニクラウン協会)	75,300 円	
さくら並木プロジェクト(NPO 法人 さくら並木ネットワーク)	2,557,610 円	
ボルネオ緑の回廊プロジェクト(認定 NPO 法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン)	21,000 円	
Blue Ocean Project(NPO 法人 日本ウミガメ協議会)	474,800 円	
熊本城災害復旧支援金(熊本市 熊本城総合事務所)	25,500 円	
DEAR ME(NPO 法人 DEAR ME)	20,400 円	
Japan Heart(認定 NPO 法人 ジャパンハート)	755,620 円	
ガールズ・プロジェクト(公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン)	118,590 円	
森のようちえん(あつま森のようちえんワッカ)	82,010 円	

## ■2021年のプロジェクト一覧・寄付金内訳



・ **ピースバイピースコットンプロジェクト** (一般財団法人 PEACE BY PEACE COTTON)  
オーガニックコットン製品を基金付きで販売。  
集まった寄付金はインドのオーガニックコットン農家支援、復学支援など、  
オーガニックコットン普及のために役立てられるプロジェクトです。



・ **クリニクラウンプロジェクト** (認定NPO法人 クリニクラウン協会)  
臨床道化師 (クリニック=病院、クラウン=道化師) が入院生活を送る子ども  
たちの病室を定期訪問し、遊びや会話を通じて子どもたちの成長を支援するプ  
ロジェクトです。



・ **さくら並木プロジェクト** (NPO法人 さくら並木ネットワーク)  
震災の風化を防ぎ世代を越えて語り継ぐため、東日本大震災の際に東北で発生  
した津波の到達地に桜の植樹を行うプロジェクトです。



・ **ボルネオ緑の回廊プロジェクト**(認定NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン)  
ボルネオ島北部キナバタンガン川流域でアブラヤシプランテーションの開発によ  
って分断されつつある熱帯雨林をつないで豊かな生態系を後世に残し、動物と  
人が共に生きていける未来をつくるプロジェクトです。



・ **Blue Ocean Project** (NPO法人 日本ウミガメ協議会)  
ウミガメ保護のみならず、海洋動物や海浜環境の保全を行い、海岸のそばで暮  
らす人、漁業者、ウミガメと接する人々の暮らしや文化の保全の方法を模索し、  
実現していくプロジェクトです。



・ **DEAR MEプロジェクト**(NPO法人 DEAR ME)  
2015年よりフィリピンの貧困地域で暮らす子どもがモデルのファッション  
ショーを開催。世界中の子どもが平等に夢を描き胸を張って生きられる社会づく  
りを目指したプロジェクトです。



・ **For KUMAMOTO Project**(「熊本城災害復旧支援金」熊本市 熊本城総合事務所)  
2016年の熊本地震において深刻な被害のあった熊本城の修復作業をサポートするプロジェクトです。



・ **Japan Heart** (認定NPO法人 ジャパンハート)  
東南アジアでの手術活動や国内災害時の医療チーム派遣を行うジャパンハートとの取り組み。「医療の届かない場所に医療を届ける」プロジェクトです。



・ **ガールズ・プロジェクト** (公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン)  
途上国の女の子たちを危機から守り、彼女たちが「生きていく力」を身につける活動を支援するプロジェクトです。



・ **あつま森のようちえん** (あつま森のようちえんワッカ)  
豊かな自然の懷に包まれながら、親子、仲間、地域のあたたかい繋がりの中で、大人も子どもも主体的に関わり、共に育ち合う環境、コミュニティづくりを目指しています。



■ 豊島株式会社 <https://www.toyoshima.co.jp/>

1841年創業。180年の歴史の中で、時代の変化に応じて事業領域を拡大。現在では世界各地から原料・糸・生地を買付け・販売や、最終製品の企画から生産管理、納品まで一連のプロセスを手掛けファッション産業のあらゆる過程において総合的に事業を展開しています。また、持続可能なライフスタイル提供企業としてさまざまなサステナブル素材の開発と提供、そしてテックベンチャーへの投資やスマートウェアの開発を推進しています。2019年より、「MY WILL(マイ・ウィル)」をステートメントとし、サステナブル&テクノロジーに対する当社の姿勢を打ち出しています。